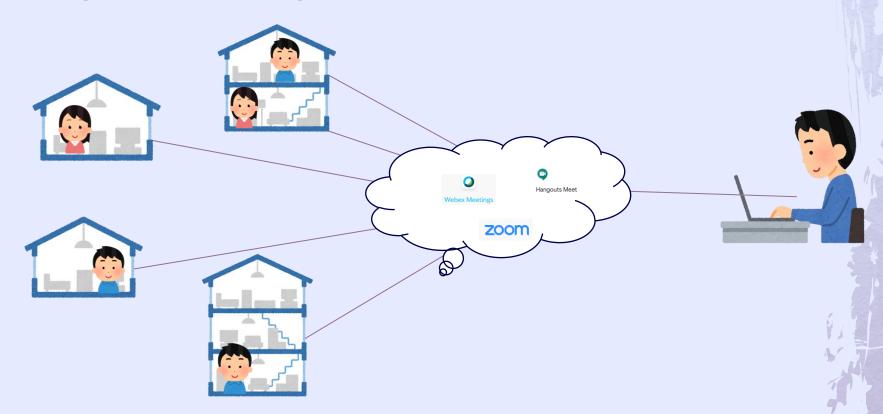
オンライン授業URL通知方法 (更新)

https://utelecon.github.io/faculty_members/let_students_know_your_url

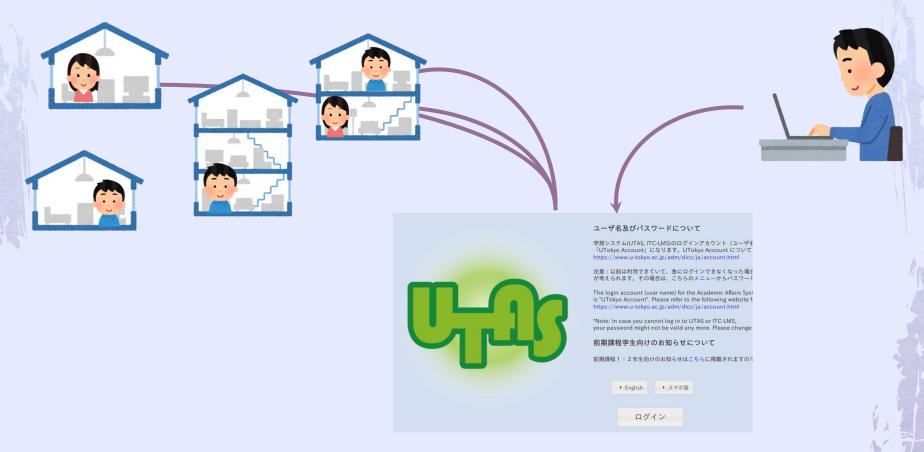
情報基盤センター田浦健次朗

目的

◆ オンラインで授業を行う先生がその情報 (会議室URL) をどう学生に伝えるか?



3/26に述べたこと: UTASが「約束の場所」



UTASシラバスの「オンライン授業URL」欄に書く

3/26の議論+その後発覚した課題

◆ 3/26の議論

- ◆ 「『オンライン授業URL』不便問題」同欄に書けるのが1 URLのみ、それ以外何も書けない
- ◆ 「教室情報残ってる問題」対面用の教室情報が残っている。そもそも対面かオンライン化なども明示する規則も必要

◆ その後

- ◆ 「UTAS/ITC-LMS重すぎ問題」
 - ◆ 4/3~4/6ごろUTASの反応が悪すぎた。毎授業前にUTASにアクセスする方式は機能しないのではという懸念
 - ◆ ITC-LMSもあらたなリクエストに反応しなくなる時がある

ITC-LMS お知らせ通知機能 を利用 便利かつ軽量な UTAS Lite (オンライン授業情報検索システム)

- ◆『オンライン授業URL』不便問題
- ◆ 教室情報残ってる問題
- ◆ UTAS/ITC-LMS重すぎ問題

「オンライン授業URL」不便問題

- ◆ 「オンライン授業内容」欄を追加
 - ◆ 自由な文字列が書け、URLらしき文字列を自動的 にリンク化
- ◆ 何もしなければ
 - ◆「オンライン授業URL」はそのまま
 - ◆「オンライン授業内容」は空
- ◆ 推奨: 「授業の概要」など「オンライン授業 URL」以外の欄にURLを書いていた先生はそ れを「オンライン授業内容」に移動

移動を推奨する理由

- ◆ 「東京大学授業カタログ」を通じてオンライン授業URLが漏れる心配がない
 - ◆ 注: 現在も文字列のパターンマッチによりマス キングしているが完全という保証はない
 - ♦ https://*****
 - ◆ ミーティングID: 123456789 ->ミーティングID: *****
- ◆ 後述するUTAS Liteで取得可能になる

- ◆ 『オンライン授業URL』不便問題
- ◆ 教室情報残ってる問題
- ◆ UTAS/ITC-LMS重すぎ問題

「教室情報残ってる問題」

- ◆ Q. オンライン授業URLを書くだけでなく、 教室を使わない授業では教室情報を消す などの操作が必要ではないか?
- ◆ A. その後の検討
 - ◆ 現状、教室を使う可能性はほぼなくなった
 - ◆学期の途中から教室を使うことになる可能性なども考えると、今教室状況を文字通り「消去」すると後々復活させる際に混乱が生じかねない

「教室情報残ってる問題」

- ◆以上を鑑み教室情報はそのままにする
- ◆「オンライン授業内容」欄(自由記述可能)を用いていろいろな情報を明示していただく

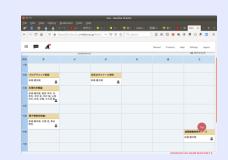
- ◆ 『オンライン授業URL』不便問題
- ◆ 教室情報残ってる問題
- ◆ UTAS/ITC-LMS重すぎ問題

「UTAS / ITC-LMS重すぎ問題」

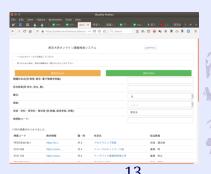
- ◆ リソース増強
 - ◆3/31: ITC-LMS(+継続的にパラメータ変更)
 - ◆ 4/6 昼休み: UTAS
- ◆ 現状
 - ◆ UTAS: 反応が悪いという現象は見られていないが、来週以降、注視が必要
 - ◆ ITC-LMS: 高負荷時、リソース不足というより も不具合を踏んでログイン不能状態に陥るこ とがある(調査中)

推奨と対策

- ◆ 先生へ推奨:ITC-LMS利用
 - ◆ 「お知らせ」に記述



- ◆受講登録した人に決まったタイミング(e.g., 前日)に メールとLINEで知らせることができる
- ◆「コース概要」に記述
 - ◆受講登録なくてもみられる
- ◆ 学生へお知らせ:軽量なオンライン授業
 - 情報検索システム: <u>UTAS Lite</u>



ITC-LMS「お知らせ」機能

- ◆ 指定したタイミングで受講登録済み学生 にお知らせ(メール、LINE)を発出可能
 - ◆ 推奨:授業前日夜(低負荷)
- ◆ ◎学生はITC-LMSへログイン不要
- ◆ ◎ 学生はタイムリーにお知らせ受信
 - ◆ しつこく注:前日夜を推奨
- ◆ △ 受講登録のひと手間(1クリック)
- ◆ <u>やり方の動画</u>

ITC-LMS「コース概要」欄

- ◆ ○受講登録していない学生でも見られる
- ◆ ○UTokyo Accountは必要なので授業URLを 野ざらしにする危険はない
- ◆○自分の授業へのダイレクトリンク (URL) がある
 - ◆ 学生を直接自分の授業ページへ誘導できる
- ◆ △学生はITC-LMSにログインする必要がある(ログイン不能状態での助けにはならない)

UTAS Lite:

急造の東京大学オンライン講義検索システム

- https://utelecon-directory.adm.u-tokyo.ac.jp/utas/
- ◆ 急ごしらえだが、「地味にいい仕事します」
- ◆ UTASの情報を定期的(1時間おき)に抜き出して 検索を提供する別窓口
 - 教員:これまで通り(UTASの情報を必要なら更新)
 - ◆ 学生:「UTAS重い」ときの逃げ道
 - ◆いや、こちらを普段から使う方が○
 - ◆ サインインにECCSクラウドメール(xxxx@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)を使います
- ◆ なぜUTASがもともとこうなっていなかったんだ? なぜまた別のシステムなんだ? というのはその通りですm(__)m 負荷対策のための急ごしらえです。

まとめ

